

1. 科目名 (単位数)	社会福祉原論	3. 科目番号	SSMP1103 SBMP1103
2. 授業担当教員	武山 梅乗		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	社会福祉入門等の関連科目の履修が望ましい。		
7. 講義概要	社会福祉の原理や理論、福祉政策、福祉サービスの供給体制などについて、概念や理念、歴史的展開などを踏まえて理解する。さらに、社会問題と社会構造の関係や国際比較の視点などを通して、日本の社会福祉の特性や今後のあり方についても考察を深める。		
8. 学習目標	以下について学習し、理解できるようになる。 1 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。 2 社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。 3 社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。 4 福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。 5 福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。 6 福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 7 福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	非定期的な小テスト・レポートを実施する。 レポート課題は授業中に提示する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】最新社会福祉士養成講座4「社会福祉の原理と政策」中央法規。 【参考書】東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	成績評価の規準 7つの目標について関心を高め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度) 7つの目標について学習し、理解することができたか。(知識・理解) 7つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践)・評定の方法 (1) 平常点(授業態度・発表・発言・学習課題など) 40% (2) 課題レポート 30% (3) 定期試験 30% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	本学の基本方針として、学生個人の思考力、創造力、分析能力、問題解決能力等を育成することを重視している。受講生は、これらの目標達成のために、以下の条件を守ることが期待される。 1. この授業は「社会福祉原論」という、福祉専門職にとっては基礎的なものである。したがって、授業中はつねに集中力を保って受講することと、積極的態度で授業に参加することが期待されている。 2. 授業のための予習を必ずしておくこと。予習してくる教科書のページは、このシラバス、または授業中に指示する。 3. 質問があれば、授業中あるいはオフィスアワーで自ら進んで教師に尋ねること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 4. レポートの提出日を厳守すること。 5. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教師に書面をもって報告すること。 6. 授業中は私語、居眠りをしないこと。また、携帯電話のスイッチを切っておくこと。授業中は教師の許可なく出入りしないこと。		
13. オフィスアワー	オフィスアワーは講義時間の前後で受け付けます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション(講義概要、講師紹介等) 社会福祉とは何か① 理念としての社会福祉	事前学習	教科書を準備し、シラバスを確認して講義へ臨むこと。 教科書を読む。
		事後学習	社会福祉とは何か考える。
第2回	社会福祉とは何か② 制度政策としての社会福祉 実践としての社会福祉	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	社会福祉を4つの側面から理解する。
第3回	わが国の社会福祉の歩み① 戦前	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	戦前の社会福祉の歩みを理解する。
第4回	わが国の社会福祉の歩み② 戦後	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	戦後の社会福祉の歩みを理解する。
第5回	わが国の社会福祉の歩み③ 社会福祉基礎構造改革	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	社会福祉基礎構造改革を理解する。
第6回	イギリスの社会福祉の歩み	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	イギリスの社会福祉の歩みを理解する。

第7回	アメリカの社会福祉の歩み	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	アメリカの社会福祉の歩みを理解する。
第8回	諸外国の社会福祉の歩み	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	ドイツとスウェーデンの社会福祉の歩みを理解する。
第9回	現代における社会福祉① 社会福祉の考え方	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	社会福祉の考え方を整理する。
第10回	現代における社会福祉② 社会福祉の理論	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	社会福祉の理論を理解する。
第11回	社会福祉政策と福祉ニーズ① 福祉サービス利用者のとらえ方	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	福祉サービス利用者のとらえ方を理解する。
第12回	社会福祉政策と福祉ニーズ② 福祉ニーズと社会福祉問題	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	福祉ニーズと社会福祉問題を理解する。
第13回	社会福祉関係法制と運営① 法源としての憲法	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	法源としての憲法を理解する。
第14回	社会福祉関係法制と運営② 国際的条約と社会福祉	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	国際的条約と社会福祉を理解する。
第15回	社会福祉関係法制と運営③ 社会福祉法	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	社会福祉法を理解する。
第16回	社会福祉関係法制と運営④ 社会福祉六法	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	社会福祉六法を理解する。
第17回	社会福祉行財政と民間福祉活動① 社会福祉行政	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	社会福祉行政を理解する。
第18回	社会福祉行財政と民間福祉活動② 社会福祉財政と費用徴収	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	社会福祉財政と費用徴収を理解する。
第19回	社会福祉行財政と民間福祉活動③ 民間福祉活動	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	民間福祉活動を理解する。
第20回	社会福祉援助の体系と担い手① ハード福祉とソフト福祉、社会福祉援助技術の体系	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	ハード福祉とソフト福祉、社会福祉援助技術の体系を理解する。
第21回	社会福祉援助の体系と担い手② 直接援助技術、間接援助技術	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	直接援助技術、間接援助技術を理解する。
第22回	社会福祉援助の体系と担い手③ 関連援助技術	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	関連援助技術を理解する。
第23回	社会福祉援助の体系と担い手④ 社会福祉援助の担い手	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	社会福祉援助の担い手を理解する。
第24回	社会福祉及び関連する分野の現状と課題① 所得保障	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	所得保障を理解する。
第25回	社会福祉及び関連する分野の現状と課題② 児童家庭福祉	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	児童家庭福祉を理解する。
第26回	社会福祉及び関連する分野の現状と課題③ 障害者福祉	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	障害者福祉を理解する。
第27回	社会福祉及び関連する分野の現状と課題④ 高齢者福祉と介護保険	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	高齢者福祉と介護保険を理解する。
第28回	社会福祉及び関連する分野の現状と課題⑤ 母子及び父子並びに寡婦福祉	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	母子及び父子並びに寡婦福祉を理解する。
第29回	社会福祉及び関連する分野の現状と課題⑥ 地域福祉	事前学習	教科書を読む。
		事後学習	地域福祉を理解する。
第30回	まとめと振り返り	事前学習	これまで行われた確認テストのファイルをもつてくること。
		事後学習	自己評価し、理解不足のところは知識を補っておく。